

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所

【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、HD銀行(ベトナム・ホーチミン)

明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【青島支店】

中国国内旅行について

1. はじめに

2020年2月以降ゼロコロナ政策の下、一件の発症事例をもとに勤務する会社のビルが全階層ビルごと閉鎖される、周辺地がロックダウンされるといった非常に厳しい措置が敷かれていました。他者に迷惑をかけまいと中国に住む人全員が不要不急の移動を自粛し、3年強の期間、実家に戻っていない中国人の方もいらっしゃるれば、中国赴任後勤務地から出たことが無いという日本人の方も実際に多数いらっしゃいました。2023年1月にゼロコロナ政策終了により行動制限が解除されたため、中国人を始め中国で暮らす人々にとって今年のゴールデンウィーク（五一節、労働節（4/29～5/3））は色んな意味で期待が高まった大型連休となりました。おおよそ2億7,400万人が国内を移動し、国内旅行者数は上海ロックダウンとなった前年対比71%増加しました。国内観光旅行収入も1,480億元（2兆9,170億円）と前年比129%増加し、経済面にも大きな変化をもたらしました。

【労働節の国内旅行者数】

	旅行者数 (百万人)	前年比 (%)	2019年比 (%)
2019年	195	14	-
2020年	115	▲53	47
2021年	230	120	103
2022年	160	▲30	67
2023年	274	71	119

【労働節の国内観光収入】

	観光収入 (10億元)	前年比 (%)	2019年比 (%)
2019年	118	16	-
2020年	48	▲68	32
2021年	113	138	77
2022年	65	▲43	44
2023年	148	129	101

【参照】三井住友DSアセットマネジメント「中国の『労働節』で見えたりベンジ旅行需要」

私たちもオンライン面談から出張による対面面談へシフトさせることができ、各地のリアルな状況を見聞きし、雰囲気を感じやすい環境となりました。中国政府としても、短期間で大勢の方々が移動することを想定し、よりスムーズな移動ができるよう環境整備に努めていることもあり、旅行に関する利便性が益々高まっています。今回は私が上海と南通に行ったケースを基に、中国国内旅行の利便性についてご紹介したいと思います。

2. 準備～予約

まずは計画を立て、スマホアプリ「携程旅行（以下、シートリップ）」で飛行機、高鉄（新幹線）、ホテルの予約を行います。シートリップには予め筆者のパスポート情報、携帯

電話情報を登録しており、それぞれ予約画面の中で自分の項目を選択すれば都度情報の入力を行わなくて済みます。

飛行機の予約に合わせて、自宅～出発空港、到着空港～第一目的地へのタクシーを利用するかどうかの選択が可能です。自宅～出発空港までは約 60 km で、高速道路も使いタクシー料金は通常であれば 250 円 (4,928 円) 程度かかりますが、このセットを利用すれば 207 円 (4,080 円) となります。青島～上海虹橋空港の航空チケット代 (行き) は保険代を含めて 890 円 (17,541 円) で、帰りの上海虹橋空港～青島空港は保険代を含めて 1,384 円 (27,279 円)、タクシー代は 134 円 (2,641 円) でした。航空チケットの価格はコロナ以前よりも少し割高となったような気がします。なお、青島空港から上海虹橋までの距離は 720 km で、下関から名古屋くらいまでの距離に相当します。

続けて、高鉄 (新幹線) の予約もシートリップで行います。座席は一等、二等、座席無しの 3 種類あり、一等は通路を挟んで両側 2 列のシート、二等は通路を挟んで両側 3 列のシート、座席無しは通路や乗車口付近に立って乗ることになりますが、二等と座席無しに料金の差はありません。上海虹橋駅～南通駅までは 130 km (約 1 時間) ほどで、時間帯にもよりますが価格は一等 129 円 (2,523 円)、二等・座席無しは 81 円 (1,597 円) です。二等に乗った場合、一等に比べて、車両空間では、話し声や電話の声、メディア音声などが飛び交うので、金額差との費用対効果になりますが一等の方が日本人としてはリラックスできます。

ホテルの予約もシートリップで行います。別日のケースですが、200 円 (3,942 円) 程度の低価格帯ホテルを予約したことがありました。その際、普段通り予約は出来ており、チェックインして入室したのですが、程なくスタッフが部屋を訪ねてきて「外国人は泊めることができない規定になっている」と言われ、入室後にホテルを移動したことがありました。シートリップサービスのコールセンターが即時対応してくれ、近隣のホテルに泊まることができましたが、やはり私たち外国人は「国際」と付く 4 つ星以上のホテルを予約した方が安心できます。4～5 つ星ホテルでも、都市レベルやシーズンにもよりますが 350～500 円 (6,899～9,855 円) で宿泊が可能です。朝食は中華と洋食のビュッフェスタイルが多く、食べられるものが無いということはありません。

3. 移動

(1) 予約タクシー、オンライン航空チケットの発行

シートリップで予約したタクシー運転手から出発予定の 10 分くらい前に「家の前のスペースで待っています」と電話を受け、車輛ナンバーを確認し乗車します。タクシーへ乗車した後、空港での預け荷物が無い場合、タクシー内で飛行機のチェックインを済ませます。予約で利用したシートリップアプリ内で、座席を選択し、チケット発行ボタンを押すだけです。チケット発行後はキャンセルや変更が出来ない点に注意が必要ですが、空港到着後、搭乗カウンターへは行く必要は無く、そのまま手荷物検査を済ませ、搭乗口へ向かいます。チケットの発行は出発の 45 分前に打ち切られますが、時間に間に合わずチケットの発行が出来ないということにはなりません。手荷物検査場は 5 ゲートくら

いが開いて対応しており、各列 20 人程度が並んでいます。40 分程度考えておけば十分に搭乗口に到着できると思います。搭乗は出発時間の 40 分前から始まりますので、1 時間 20 分前には空港に着いておきたいという算段です。全て予約段階とサービス利用後に自動引き落とし（支付宝アプリ内）で料金を支払います。

(2) 地下鉄

上海虹橋空港に到着した後、空港に直結した地下鉄を利用します。地下鉄の利用についてはスマホアプリ「Metro 大都会」を使用します。このアプリでは中国国内各地の地下鉄料金の支払い QR コードを表示でき、「WECHAT」や「支付宝」の支払ツールと連動させ地下鉄の乗り降りを行います。地下鉄料金は 8 駅（距離約 5 km）で 3 元（57 円）ほどです。アプリ内で各地の路線へ切り替えて使用します。



（筆者撮影：電子航空チケット）

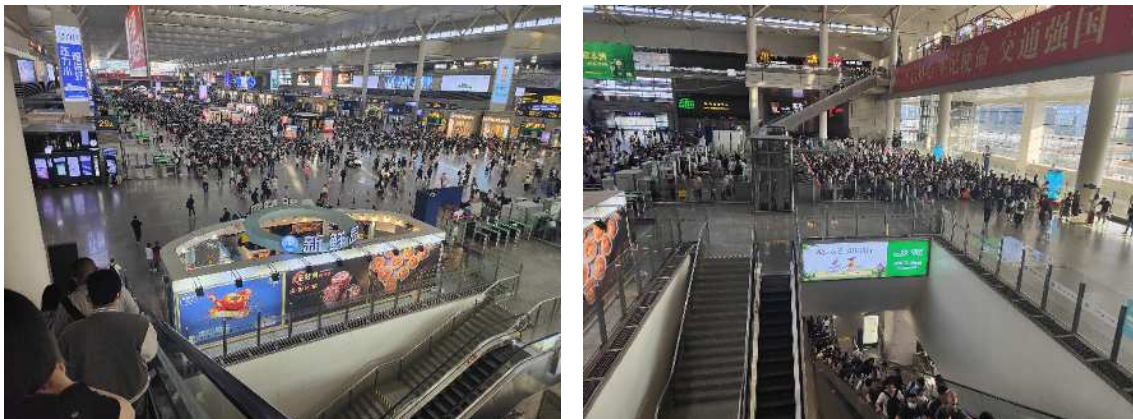
(3) レンタル自転車

最寄りの駅に着いたあとは、近くにたくさん停留してあるレンタル自転車を使用します。レンタル自転車は種類が 2、3 種類あり、中には中国人しか持っていない身分証が無ければ利用できないものもありますが、支付宝と連動した「ハロー出行車」は日本人でも使用することができます。利用料金は時間単位で、10 分程度の走行だと 1.5 元（30 円）です。利用後は専用の駐輪スペースに置いて鍵を掛けたタイミングで、支付宝から料金が自動的に引き落とされます。専用駐輪スペース以外に停めた場合は公安から違反の連絡があり、支付宝にて罰金 20 元（394 円）が引き落とされますが、そこから自転車の移動を自分でさせられたことはありません。最近では専用駐輪スペースでなければ鍵が掛からず自転車の利用料金が精算できないようになっているものもあります。専用駐輪スペースの在り処は「ハロー出行車」内の地図で確認することができますが、その辺にたくさんレンタル自転車が停めてありますので迷うことはなく、同じように停めれば問題なく駐輪、精算ができます。

(4) 高鉄（新幹線）

上海虹橋駅から 131 km 離れた南通まで高鉄で移動します。高鉄の駅では、到着後すぐに入口で簡易的な手荷物検査を行います。手荷物検査場は 4 ゲートあり、20～30 人程度が列を作っていますが、10 分程度で終わります。高鉄のチケットは、シートリップで予約した段階で自分のパスポート IC チップとその情報が連動しているため、チケットの発行は不要です。上海虹橋駅では 50 口くらいの出発ゲートがあります。シートリップで出発ゲート番号を確認し、出発時刻の 10 分前にそのゲートに行き、パスポートを読み取り

機にかざして入場し、指定座席へ着席します。



(筆者撮影：上海虹橋駅構内の様子)

(5) ホテルチェックイン、チェックアウト

フロントでパスポートを提示すれば、予約した情報とリンクしており、すぐにルームカードキーをもらえます。支払いは前払いで、もちろん支付宝にて行うのですが、支付宝アプリ内における「信用力点数」が高くなることで宿泊デポジットが不要となっています。翌朝チェックアウトの際に領収書（発票）が発行されますが、以前はこの領収書発行に1人当たり10～15分程度と大変時間がかかり、チェックアウト客で行列になっていましたが、今はそれもシートリップアプリ内にて電子版で受け取ることができますので、ルームカードキーを渡してすぐにチェックアウト完了となります。

(6) フライト事情について

利用した日は各地で軍事訓練が行われていたとのことで、ほぼ全ての便で1時間程度の遅延が発生していました。遅延については前日～出発直前にシートリップアプリ内と登録携帯電話のショートメッセージにて通知されます。フライトの遅延やキャンセルに関しては以前と比べて少なくなったように思います。

(7) 「ネット予約タクシー」

帰着空港へ到着した後、飛行機と一緒に予約したタクシーを待ちます。アプリ上で予約したタクシーは空港内の「網約車場」というところに来ます。多くの方が利用しますので人もタクシーも混雑しています。青島空港では乗り口が8カ所あり、タクシーが近くに来ると「近くまで来ました、何番にいますか」と電話がかかって来て、車両ナンバーを確認して乗り込み、自宅まで送り届けてもらえます。

(8) 領収書（発票）について

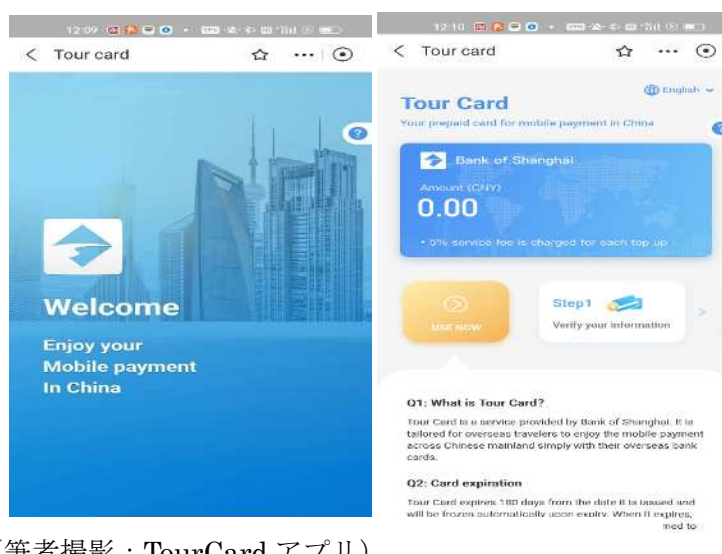
それぞれ利用したアプリ内から電子領収書（発票）を全て取得できます。会社で旅費の精算を行う場合においても、チケットや領収書の紛失、もらい漏れのリスクはありません。

(9) タクシー運転手について

タクシーの運転手たちはアプリ上に個人情報登録されており、またタクシー内は防犯カメラの設置が義務付けられています。利用後の料金支払いと同時に、運転手の評価を行えるシステムになっており、行き先が違う、遠回りされた、高額請求されたなど低い評価を受けてしまうと減給や解雇などの罰則が与えられるため、利用者が利用中に不快な思いをすることもなく、全てのサービスを安心して利用することが出来ます。

4. おわりに

中国国内での料金支払いに際しては、支付宝（アリペイ）か微信（WECHAT）で行うケースが大半で、ご存知の通りほとんど現金は使われません。またそれらのアプリを使って支払いを行うには中国国内の銀行口座を開設する必要がありますが、銀行口座を開設するには中国国内に居住しているという居留許可証が必要で、出張者は銀行口座を開設することができません。しかし、支



(筆者撮影：TourCard アプリ)

付宝アプリ内で「TourCard」というサービスが2023年6月にグレードアップされ、そのサービスでは、銀行口座の開設を不要とし、日本で使用するクレジットカードから支付宝のクレジットに料金をチャージし使用することができます。出張者が中国に訪れる際に人民元の現金を準備せずとも、ここまで記載したものと同等のサービスや他のアプリのサービスも受けることができるようになりました。

山口フィナンシャルグループでは、海外現地駐在員から現地の生の情報を発信し、みなさまの海外展開のお手伝いをさせていただき体制を整えています。本レポートをご覧頂いた方々が、中国への渡航に関心をお寄せ頂ければ幸いです。海外についてご関心をお待ちの方はぜひお気軽にご相談頂ければと思います。

(山口銀行青島支店 平田 理)

【参考 URL】

三井住友 DS アセットマネジメント「中国の『労働節』で見えたりベンジ旅行需要」

<https://www.smd-am.co.jp/market/daily/keyword/2023/05/key230515ch.pdf>